



2019年(令和元年)2月学校評価号  
中野区立江原小学校 学校便り  
校長 福田 豊 児童数 518名

### 学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求めろ子

『かしこく』『やさしく』『たくましく』

## 学校教育に関する保護者アンケート集計結果について（回答率91％）

副校長 平野 真由美

保護者アンケートへのご協力ありがとうございます。保護者の皆様からいただいたアンケート結果や児童、教職員からのアンケートをもとに、江原小をさらによい学校にするために、次年度の計画を全教職員で立案しているところです。

### 肯定的評価（A+B）が70％以下の項目について

**22 学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。（48％）**

例年、評価が低い項目ですが、今年度は48％とさらに低い数値となっております。本校には特別支援学級としてわかば学級が設置されている他、特別支援教室としてかみたかだ学級から教員が巡回し、ステップルームで指導を行っています。ステップルームで、子どもの特性に合わせた個別学習や小集団での学習を展開しています。次年度は、かみたかだ学級の教員にも協力をいただき、ステップルームでの指導の様子を説明する機会は、かみたかだ学級の教員に土曜公開等で個別相談を受けられる時間を設定したいと考えております。次年度を待たずしても、担任はもちろんのこと、本校の特別支援教室専門員や、心の教室相談員、スクールカウンセラー等、教職員にご相談いただいで構いません。

**27 学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。（59％）**

25・26のオープンキャンパスの項目と合わせて、こちらも例年数値が低い項目です。お便りの発行等、周知の方法について、改善していきたいと考えています。

### 昨年度から10ポイント以上上がった項目について

**2 学校は、特色ある教育活動を推進している。**

（-11ポイント）

江原小といえは何を思い浮かべますか。他の学校になくて、江原小にあるものと言ったら何でしょう。

アンケートの自由記述で「特別支援学級があることは、子どもたちにとって、とてもよい環境である」というご意見をいただきました。また、校庭が三つある学校は全国でもめずらしいです。えはらっこサポーターの活躍は、区報でも掲載された通りです。学区内には東京子ども図書館があります。連携をしながらの豊かな読書活動も特色の一つです。次年度は、引き続き江原小の強みや環境を生かした教育活動を展開し、保護者の皆様にもアピールしていきます。

**3 学校は、一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。（-13ポイント）**

こちらにも、真摯に受け止めるべき結果となっております。自由記述では、教職員の言葉遣いや感情に任せた指導に対する改善についてご意見をいただきました。児童の発達段階に合わせた、また児童の気持ちに寄り添った声掛けや指導を行えるよう、日々意識して、改善していきます。

**6 学校は、児童の興味・関心や意欲を引き出す授業の工夫をしている。（-12ポイント）**

**7 学校は、児童に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。（-10ポイント）**

この二つの項目は、学力の向上に重要な項目です。異なっているようで、関連し合っています。子どもたちの興味・関心や意欲を引き出すために、視覚教材を用いて教材を提示したり、活動にゲーム的な要素を取り入れたり、工夫をしているところですが、まだまだ完全とは言えません。また、ペアやグループ等の少人数で自分の意見や考えを伝え合ったり、聞き合ったりする活動を取り入れることによって、考えを伝える力が身に付いてきている児童もいます。学習した内容は、人に話したり、教えたりすることで定着します。そのような活動も取り入れながら、楽しく学べる学習環境を児童と一緒に作り上げていきます。

	アンケート項目	R1 (A+B)	H30 (A+B)	前年度 との比較
1	お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。	92	91	+1
2	学校は、特色ある教育活動を推進している。	69	80	-11
3	学校は、一人ひとりの児童のよさや可能性を伸ばす教育活動を行っている。	62	75	-13
4	学校は、地域の環境や人材を教育活動に生かしている。	70	72	-2
5	学校は、児童に学習内容の基礎・基本を身に付けさせている。	89	90	-1
6	学校は、児童の興味・関心や意欲を引き出す授業の工夫をしている。	76	88	-12
7	学校は、児童に人とかかわったり、自分の考えを伝えたりする力を育てている。	75	85	-10
8	学校は、健康づくり、体力づくりを進めている。	82	83	-1
9	学校は、環境問題にかかわる教育活動を行っている。	72	74	-2
10	学校は、思いやりや優しい心を育てている。	74	78	-4
11	学校は、児童に自他の生命を大切にすることを育てている。	70	78	-8
12	学校は、児童に社会のルールを守る態度を育てている。	83	89	-6
13	学校は、教育目標や経営方針を保護者や地域にわかりやすく伝えている。	75	80	-5
14	学校は、保護者や地域の方の意見や要望を受け止め、学校改善に生かそうとしている。	70	79	-9
15	学校は、地域・保護者と協力しながら子どもを教育している。	85	87	-2
16	学校は、学校公開の機会や学校だより、ホームページなどで、学校の様子を地域や保護者に知らせるなど、開かれた学校づくりに努めている。	88	89	-1
17	学校は、子どもや保護者の悩みや相談に応じている。	73	79	-6
18	学校は、子どもの安全を守るための取り組みを行っている。	83	87	-4
19	学校は、熱意をもって指導に取り組んでいる。	85	88	-3
20	教職員は、来校時や電話などの際には、親切・丁寧に対応している。	88	93	-5
21	学校は、一人ひとりの児童の学習成果や生活の様子をわかりやすく伝えている。	76	85	-9
22	学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている。	48	62	-14
23	学校は、学校施設の整備や校内環境の美化に努めている。	85	88	-3
24	学校は、土曜授業の実施方法を工夫するなどして、教育内容の充実に努めている。	85	87	-2
25	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、児童に進学への安心感や、中学校への憧れの気持ちをもたせている。	65	68	-3
26	学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、授業改善に努め、児童の学力向上、体力向上、心の教育の充実に努めている。	62	63	-1
27	学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている。	59	66	-7
28	学校は、幼稚園児童・保育園児との交流などを通して、児童に小学生になった自覚をもたせている。	72	66	+6

その他、自由記述からです。

◆ **働き方改革は分かるが、以前より保護者と学校の壁を感じる。**

法的に勤務時間は守らなければなりません。さらに次年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、授業時数も増加します。そのような中ですが、お子様のよりよい成長のために、保護者の方と協力して教育に携わりたいという思いは変わりありません。遠慮せず、お声かけください。

◆ **土曜公開の回数を減らす、もしくは公開ではない授業にしてほしい。**

区の施策として実施しているので、学校の判断で回数を減らすことはできません。ただし、全時間公開と

するか等、運営については見直しを図ります。また、平日に授業を参観に来ていただいても構いません。いつでもおいでください。

◆ **給食の時間が短い。**

次年度は、生活時程を見直して、給食の時間や中休みを5分ずつ長くして、子どもたちがゆとりをもって生活できるよう改善します。詳しい時程は、後日お示しします。

最後になりましたが、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。今後とも、教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。